

第7回「匠の里 伊勢型紙フェスタ」について

三重県戦略企画部企画課

1 「匠の里 伊勢型紙フェスタ」について

「匠の里 伊勢型紙フェスタ」は、平成20年からスタートしたイベントで、伊勢型紙地域協議会や白子まちかど博物館などで構成する実行委員会で企画運営しており、鈴鹿市の伝統工芸品産業である伊勢型紙の振興のため、伊勢型紙とその産業を育んだ白子・寺家地区の歴史に触れていただける機会を提供し、1人でも多くの方に伊勢型紙やこの地域を知っていただくことを目的として開催しています。

学生にとっては、この取組を通じて地域のことを学ぶきっかけとするとともに、地域の伝統産業を次代へ保存するために活動されている皆さんとの交流を通じて、伝統産業の保存や地域資源の活用等について考える機会とすることを目指しました。

2 取組概要

「第7回匠の里 伊勢型紙フェスタ」を、平成26年11月8日（土）、9日（日）に開催し、鈴鹿国際大学、鈴鹿短期大学、鈴鹿工業高等専門学校を中心として県内高等教育機関の学生が参加しました。両日合わせて約1,000人の来場がありました。

学生がイベントの企画段階から参画し、子ども向けイベントのアイデア出し、当日の準備及び運営をしました。

その他、イベント当日は、地元の白子高等学校の生徒、教員にもご協力いただきました。

企画運営にあたっては、鈴鹿地域防災総合事務所とともにサポートしました。

(1) イベントの企画検討

イベント当日の子ども向け企画として、学生主体で企画・運営を行うため、鈴鹿国際大学国際人間学部の捧教授にもご協力いただき、具体的なアイデア出しを行いました。

学生のアイデアで宝探し（クイズラリー）を行うこととなり、クイズの問題の検討などを行いました。

また、地域のみなさんとの交流を図るため、スタッフTシャツづくりを行いました。

(2) イベント開催当日の協力について

イベント当日は、参加学生の皆さんに、子ども向けイベント（ハンカチ染め）の運営、白子駅・鼓ヶ浦駅での来場者へのご案内、お茶席手伝い、来場者の受付などを行っていただきました。また、和装での街歩きによるPRをしていただきました。

■白子駅、鼓ヶ浦駅でのPR

ウォークラリー用のマップを駅構内で配布しました。



■来場者受付

- ・メイン会場である伝統産業会館ではウォークラリーマップの押印、来場者帳への記名依頼、参加記念品およびウォークラリー完歩賞の引き渡しを補助しました。



■お茶席の補助

- ・伊勢型紙のデザインを取り入れた創作和菓子を振舞うお茶席のチケット販売等の補助を行いました。



■和装での街歩き

- ・ウォークラリーマップのチェックポイントの案内と当日開催されたフォトコンテストの被写体を兼ねて、着物を装って街歩きを行いました。



■子供向けイベント

- ・学生が企画に参加した「ハンカチ染め」及び「宝探し (クイズラリー)」について、運営を行いました。

